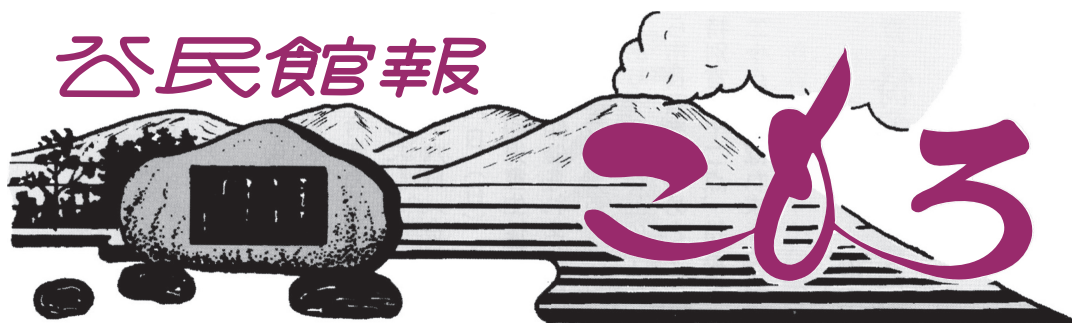




発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880

No.800

からまつの黄葉が
うねるように
里まで続く
高峰高原の
光の秋

倉本 妙子



五行歌で 四季をうたう

〈五行歌とは〉思ったことをそのままのことばで、五行に表す新しい形式の歌。全音数や季語などの制限はありません。

こもろ五行歌の会

※写真撮影は会員の倉本妙子さん

小諸出てみりや浅間の煙。
私が雄大な浅間山の麓、小諸市に縁をもつて46年もの歳月が過ぎた。
3年間軽井沢で仕事をする
社命で赴任したが若かった私は「都落ち」の感情が拭えなかつた。軽井沢では貸家が見つからず、職場の先輩の助言で小諸に住む覚悟をした。仕事は間もなく田中総理の列島改造論の時代を迎え、私の仕事も繁忙となって東京に戻る状況が一変してしまい、毎日仕事で忙殺されていた。
こうした日々の中で自宅と職場との通勤時間は、その日の仕事の段取りや反省等をする唯一自分を取り戻し気持ちをリフレッシュできる貴重な時間となつて、職場から離れた小諸に住まいを持つて良かったことを痛感させられた。
46年間の小諸での生活では落ち着いた家並びに心が癒され、人々の人情も生活の利便性も良く恵まれた暮らしができたと思つてゐる。特に小諸市では、浅間山の広い丘陵上に築かれて大河千曲川を含めどの方面から眺めても秀逸な景観の美しさが見てとれ、この良さを基にして小諸の歴史も文化も育まれて、郷土愛が醸造されてきたのではないかと感じている。

編集委員 竹節 正勝

